

2023年4月号 / No.245 / 令和5年3月20日発行



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



コミミズク飛翔 (佐賀空港にて/撮影：秀島 泉さん)

野鳥さが 245号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 事務局便り-----3ページ
- 愛鳥モデル校活動報告-----4ページ
- 各地の探鳥会報告-----6ページ
- 皆さんからのおたより-----8ページ
- 皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報-----10ページ
- 近隣地区の探鳥会情報&有明海の満潮時刻-----14ページ
- 探鳥会会場までの案内-----15ページ
- 探鳥会などのお知らせ（2023年3月末～5月）-----16ページ



役員会報告

(事務局:島田 洋)

【日 時】 2023年2月19日

【出席者】 13名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがありません)

(1) コウノトリの営巣について・・・3～4月には、繁殖期となる。 巣塔を増設する予定である。

(2) コアジサシについて

- ① 諸富町営巣地の整備を行う。 4月1、2にネット張り。
- ② 東与賀町内にも営巣地を設ける。砂利を入れる。

(3) カササギについて

- ① カササギが激減している。
- ② ハシブトカラスなどの天敵による影響が深刻である。
- ③ 佐賀県が主体になって動いてもらわないと対策を立てるのは難しい。

(4) 佐賀市鳥類調査について

- ① 佐賀市自然環境調査の一環として野鳥調査を行っている。
- ② 冬期調査は、2月中に済ませた。

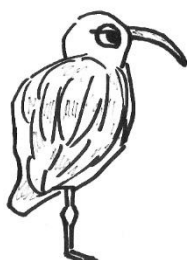
(5) 観察会の会場について

- ① 観察会の場所が佐賀市近辺に偏在し固定化している。
- ② 観察会の場所を県内全域の多くの場所に設けていきたい。
- ③ 公民館などを通じて観察会活動を広げる事などの提案があった。

(6) シギ・チドリフェスタについて

- ① 5月6日 東与賀干潟公園で開催予定。
- ② 同日は野鳥の会の観察会も開催される。

(7) その他、今後の探鳥会などについての協議を行った。





事務局便り

(事務局:青柳 良子)



(1) ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

支部報 244 号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

2月入会者 4名(うち家族会員1名) 3月入会者 5名(うち家族会員1名)
佐賀県支部の会員は現在255名です。

「新型コロナウイルス」はまだ安心できませんが、予定通りの観察会を実施しています。
充分気を付けながらバードウォッチングを楽しみましょう！

新入会員の皆様！ 積極的に参加してください。

また、入会はしたけれどもまだ一度も参加されていない方もいらっしゃいます。
是非いらしてください。お待ちしております！

『観察会に参加できないから・・・』とか『高齢だから・・・』との理由で退会される方もあります。

私たち野鳥の会は鳥や自然を愛でる趣味の会ですが、同時に野鳥を大切にする活動を通して
どんどん失われていく自然を守る自然保護団体でもあります。

私たち一人一人の数が！

みんなの出し合う会費が！

自然を守る『力』になります！

「会員」でいることが「自然保護に協力していること」になるのです。

お願いします。経済的にご負担でなければ会に籍を置き続け、今残る自然を次の世代へ引き
継ぐ『力』を貸してください!!

みなさまの周りに花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃい
ませんか？

是非お誘いください。野鳥の会は 「いつでも入会OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と
人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。

(2) コアジサシ営巣地の整備をします

4月1日・2日の2日間で諸富の浄水池跡地の整備をします。

仕事はネット張り、シェルター用レンガ土管の設置、デコイ置き及び砂利 or 砂の運搬整地
です。 人手は、多いに越したことはありません。

時間の取れる方(都合の良い時間・短時間でもOK)お手伝いお願いします。

ご質問などありましたら 支部長 宮原明幸：090-2507-7085 まで
お気軽にお問い合わせください。



(3) 寄付金をいただきました

2022年度 久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部様より、寄付金 10万円を頂戴いたしました。久光製薬株式会社様の、やさしい心遣いに感謝です。頂きました寄付金は、絶滅危惧鳥コアジサシの保護に活用致します。



愛鳥モデル校活動報告

(報告:馬場 清)

2022(令和4)年度の愛鳥モデル指定校の愛鳥指導が終了しました。前年度に引き続き、佐賀市立富士小学校と伊万里市立東山代小学校で指導を行いました。

【佐賀市立富士小学校】4年生 12名

① 2022年12月1日 「野鳥学習会&観察会」 (指導者:宮原、田辺、馬場)

【指導内容】 学校の周りで見られそうな鳥たちや食物連鎖について話し、校外へ出ました。学校周辺ではスズメ、ホオジロ、モズなど山野の鳥、河川敷ではカモ、カワガラス、ハクセキレイなどの水辺の鳥を、全部で20種類を確認できました。

【感想】 実際にカラスなどを観察して関心が湧き、種類の区別もできるようになった。見る目もだんだんと違ってきた。富士町は自然がいっぱいで鳥の生息も多い場所です。

② 2023年1月31日 「巣箱作り」 (指導者:宮原、田辺、江口、馬場)

【指導内容】 ペアで手助けしながら二人で2個の巣箱を作りました。校庭用に3個作り設置予定です。

【感想】 部材を間違えたり、指先を叩いて痛かったり、悪戦苦闘しながら完成させていた。完成した巣箱を見て満足した、みんなの笑顔が印象的でした。何個かに営巣するのが楽しみです。



【伊万里市立東山代小学校】4年生組 57名

① 2022年11月11日 「野鳥学習会」 (指導者:宮原、山崎、江口、馬場)

【指導内容】 伊万里の鳥たちについて、動画&映像を使い、話を進める。側方には

野鳥の写真、巣箱2種類、各種の巣、ハイタカなどのはく製3体を展示した。

【感想】 実際の巣やはく製に子供たちは熱心に見ていた。説明にも聞き入り、鋭い質問もあった。

② 2023年1月18日 「野鳥観察会」

(指導者：宮原、水田、山崎、江口、田辺、馬場)

【指導内容】 57名を6班に分けて少数に、各般に指導者がついた。

集合後、児童全員に双眼鏡を配り、海岸堤防に移動する。各指導員のスコープで大きく見せて説明しました。水鳥の観察ではカモ類やカンムリカイツブリ、カモメに大きな歓声を上げスコープをのぞき込んでいた。干拓地に移動し、ミサゴ、ハクセキレイ、スズメなどが観察できました。期待が大きかったマナツルは今年も対岸に飛び去っており、観察ができなくてガッカリしていた。終盤にはハヤブサが獲物を無線塔上で食べているところを十分に観察できました。

32種類観察できました。

【感想】 子供たちはこれから鳥を見る態度が変わることでしょう。

帰る際にはまた、開いて欲しいと言っていた。次回指導は巣箱作りを予定していたがコロナ禍拡大で中止になりました。

③ 2023年1月20日 「野鳥勉強会」

【指導内容】 巣箱作りがコロナ、インフルエンザ感染拡大で変更になる。

「野鳥学習会」と重複しない、ツルの渡りや日本の野鳥の種類などをパソコンを使って電子黒板に映し、羽根、くちばし、骨格の違い、食物連鎖などの話を短時間で行いました。

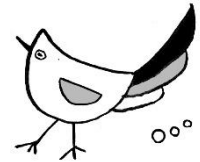
【感想】 教室で行い、すべての子供たちは説明をメモに取っていた。

少しの質問を受けた。





各地の探鳥会報告



■宇宙科学館周辺探鳥会報告（武雄市）

【日 時】 2023年1月29日

【参加者】会員16名 非会員12名（内、子供8名） （案内役：馬場 清）

【観察された野鳥】ヒドリガモ、マガモ、オナガガモ、ホシハジロ、カルガモ、コガモ、ハシビロガモ、ヨシガモ、スズメ、コゲラ、カワラヒワ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、ウグイス、メジロ、ツグミ、シロハラ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ハクセキレイ、キセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、カイツブリ、カワウ、アオサギ、コサギ、エナガ、キジバト、ミヤマホオジロ、カシラダカ、セグロセキレイ、ハイタカ（35種）

【案内役より】

武雄宇宙科学館周辺の探鳥会が2年ぶりに開かれました。当日の朝の内は曇り空で小雪がちらつき、寒風も吹きつけて、鳥見には最低の空模様でした。県下各地の市町や長崎県より参加していただき、ありがとうございました。嬉野市で活動している団体の子ども達や保護者の方も参加して貰いました。

池の水が激減した水辺でカモ類を8種とホオジロ類5種などを確認しました。

ウグイスの地鳴きを聞きながら科学館側の小川沿いの遊歩道へと進む。

天気は青空も見られ、上空にはハイタカ、水辺にはカシラダカ、アオジが動き回っている。双眼鏡やスコープで追うが見失う。小4年生のT君とR君は幼稚園卒園後4年ぶりの再会で共に野鳥に興味があります。T君はカメラで鳥を狙って構えている。R君は私のスコープを担ぎ、自分でセットして覗いている。

鹿島市のK君も4年生ですごい知識の持ち主で、お母さんも感化されたのか野鳥の会に入りたいと申し出がありました。早速加入の手配をしました。今後もドンドン誘って若き勇者たちに支部を背負って欲しいですね！

今日は子供たちが多くて会員の方も手助けをされていたし、賑やかに楽しく探鳥会を進める事が出来ました。

■多久聖廟探鳥会報告（多久市）

【日 時】 2023年2月12日

【参加者】会員20名 （案内役：宮原 明幸）

【観察された野鳥】カイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、コガモ、マガモ、オナガガモ、バン、クサシギ、イソシギ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、アトリ、イカル、スズメ、ムクドリ、カササギ、ハシブトガラス、コジュケイ（39種）

【案内役より】

久しぶりの多久聖廟での探鳥会でした。公園は綺麗に整備され過ぎ、鳥影はまば

らです。 この様な環境の芝地なら必ず居るツグミ・シロハラが見えません・・・
おそらく農薬を散布していて、餌の虫がないのでしょうか？ この度のコース、
聖廟より集落を通り牛津川へ出て戻りました。 公園を抜け、集落に入れば一転
します。 家々の庭木にはホオジロ類・カラ類・ツグミ類があちこちに見られ、
牛津川周辺でも水辺の鳥が多数出てくれました。
山里の環境が、まだまだ残る良い探鳥地でした。

■巨勢川調整池探鳥会報告（佐賀市）

【日 時】 2023年2月26日

【参加者】会員 15名 非会員 1名 （案内役：島田 洋）

【観察された野鳥】カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、
マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、
ハシビロガモ、ミコアイサ、オナガガモ、ミサゴ、バン、オオバン、キジバト、ド
バト、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ホオジロ、カシ
ラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、カササギ、ハシ
ボソガラス、ミヤマガラス （36種）

【案内役より】

天気は晴れ。雲がかかるとぐっと寒く感じます。 遠くの山の頂に雪が見えます。
9時過ぎに観察開始。 調整池の水面には、カモやカワウなどの姿。 カモの数は
最盛期よりはずいぶん少なくなっています。種類はいろいろあります。 参加者が
カンムリカイツブリの姿を見つけました。 じっくりと観察しながら遊歩道を歩き
ます。 はるか上空にミヤマガラスの大群。 300~400羽はいるでしょう。
ゆっくりと渦を巻くような群れの動きです。 「パンダガモだ。」ミコアイサが6、
7羽潜ったり、浮かんだりしていました。 池のすぐ傍の樹木にカワウがいくつも
の巣をかけています。 すでに抱卵しているようでもありました。
そして「ツバメ」の今年の初見がありました。
2時間あまりの観察会。 内容はずっしり詰まっていたと思います。

■非会員様限定バードウォッチング 開催報告

【日 時】 2023年2月23日

【会 場】佐賀県立森林公園（佐賀市）

【参加者】非会員 12名 （会員スタッフ：7名）

【観察された野鳥】カワウ、カンムリカイツブリ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オカ
ヨシガモ、コガモ、トモエガモ、アメリカヒドリの交雑種、オナガガモ、ミサゴ、
オオバン、キジバト、ドバト、ヒバリ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビ
タキ、シロハラ、ツグミ、シジュウカラ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、アト
リ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役より】

(31種)

曇り空。森林公園内の休憩所が集合場所です。9時前には参加者が次々に集まって来ました。初心者も佐賀市はもちろん福岡市、みやま市、唐津市、武雄市からの参加です。初心者の皆さんは野鳥に大きな興味を示してくれますが、フィールドスコープにも興味津々でした。

まずは、ツグミやシロハラ、ジョウビタキが登場。公園内を移動して、池のカモなども観察します。参加者は、皆さん実に熱心でした。嘉瀬川にはたくさんのカモ。そしてカワウ。足下にはホトケノザや菜の花。春が近づきつつあります。約2時間半の観察会でした。初心者の皆さんは結構楽しんでくれたのかなと思います。最後に、鳥あわせや入会の案内をして観察会を終了しました。



皆さんからのおたより

●「新しい出会い」・・・金子 絵里佳さん（鹿島市）

小学4年生の時、校外学習で肥前鹿島干潟での野鳥観察をきっかけに、鳥に興味を持った息子。1年間野鳥観察をし、自由研究にまとめた。まだまだ興味は高まる一方で、また野鳥観察を続けることにした。肥前鹿島干潟やその河口に属する鹿島川や浜川、七浦海岸と野鳥の種類や生態系を調べていた。渡り鳥の飛来が多く、水鳥を中心に、くちばし、羽毛、泳ぎ方、食べものなどの特徴をまとめたり、渡りに時期は見送りをしていた。

そんな時、昨年末新しい出会いがあった。いつものように肥前鹿島干潟へ観察しに行った時、野鳥の会の馬場清さんより声をかけていただいた。馬場さんは飛来数の調査にみえていた。以前より気になっていた団体でもあり、息子も嬉しく、次回の探鳥会の案内をいただいた。その探鳥会に参加させていただき、会員の方々や初めて見た鳥たちとの出会いもあった。息子の知識だけではない貴重な体験へと導いていただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

ゲームで過ごすことの多いこの時代に、自然に興味を持ち、これから先、自然と人間が共存することの必要性のために、SDGsを考えて過ごすことのできる子供たちが増えてほしいものです。

※全国海岸協会ヘマガモの写真を応募したら入賞しました。浜川の河口付近での撮影です。近くまで寄ってくるので間近に見れるので、子供も喜びます。

第37回海岸愛護写真コンクール
作品名「マガモと水しぶき」
学生の部 最優秀賞
撮影：金子 柊葵さん



●「カメラでウォッチング from “OUTI” Part4」

・・・小松 常光さん（唐津市相知町）

※小松さんから定期的に届く写真メールを連載で紹介していきます。

【コブシ咲く】急峻な裏山にコブシが咲いている。先日の霜で白モクレンは茶色に変色したらしいがコブシは元気だ。（3/18）

【二ホンカナヘビ】生き物もチョロチョロ動き出した。もう食べ物があるのだろう、まだ小さいが元気に動き回っている。すでにシッポを失くしている。（3/18）

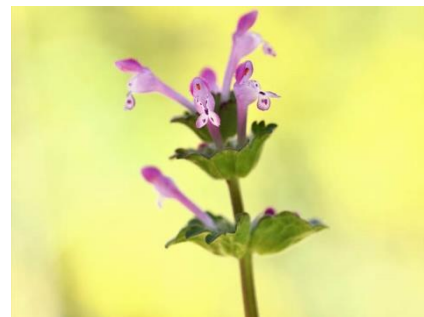
【ホトケノザ】毎週日曜日の佐賀新聞に載る佐賀大学農学部徳田誠先生の「生き物ヒトとなり」に「ホトケノザ」が取り上げられていた。アリがホトケノザの種を巣に持ち帰りエサとなる付属物を食べて種は巣の周りに捨てるとか、よって分布が広がるらしい。我が家の畑でも「雑草」として今を盛りと生い茂っている。小さな花だがロバの顔に見えて愛らしいので毎年開花を楽しみにしている。アリに感謝だ。（3/14）



コブシ咲く



二ホンカナヘビ



ホトケノザ

【越冬テントウムシ】啓蟄過ぎてシステムバスにまでテントウムシが3匹入っていて驚いた。ところが2階のサッシの隅には別の塊がいてこれにもビックリ。（3/8）

【ソウシチョウ】とうとう、特定外来生物のソウシチョウがメジロとシジュウカラのエサに来るようになってしまった。シジュウカラやメジロに追い払われていたが、いつの間にか図々しくなってきた。エサやりはできない。（3/4）

【春らしく】我が家も春らしくなってきた。（2/26）



越冬テントウムシ



落花生に来たソウシチョウ



春らしく

【ミミナバ】在所ではキノコの事を「ナバ」という。椎茸はシイタケナバ、キクラゲはミミナバと呼んでいる。もう少しで食べられる大きさだ。地球上の植物の8割はキノコの菌糸から養分を貰っているとTVで観た。情報のやり取りもしてるとか。

そうしてみればキノコは偉大なりだ。(2/21)

【エナガ】河津桜近くの梅の木にエナガの群れが来たので慌ててシャッターを切った(が、ビシッと撮れてなかった)。虫か苔か何やら夢中で食べている様だった。(2/11)

【エサ台でのバトル】仲良く食べればいいのにエサ台ではバトルが頻発する。写真はアトリがスズメを追い出そうとしているところ。メジロ同士でもやるし、メジロはシジュウカラを追い払う。(2/11)



ミミナバ



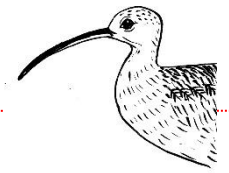
エナガ



エサ台でのバトル



皆さんからの野鳥&自然・生きもの情報



■八木 ひとみさん (佐賀市)

2月4日 【福富干拓】ヘラサギ、クロツラヘラサギ

3月11日 【福富干拓】マガン、ヒシクイ



←クロツラヘラサギ



マガン→

■加藤 芳隆さん (上峰町)

★今日の大授搦 (東よか干潟)

【2月5日】ハジロコチドリ1羽、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、ハマシギ、オオハシシギ6羽、ツルシギ5羽、アオアシシギ、オオソリハシシギ1羽、ダイシャクシギ、ホウロクシギ1羽、チュウシャクシギ1羽、ソリハシセイタカシギ3羽、クロツラヘラサギ22羽、ヘラサギ14羽、ズグロカモメ、ユリカモメ、セグロカモメ、モンゴルカモメ、アオサギ、ダイサギ、カワウ220羽、ミサゴ、アカツクシガモ2羽、ツクシガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、コガモ、カルガモ、マガモ、キンクロハジロ、スズガモ、ハシビロガモ ※アカツクシガモ今日も遠かっ



たです。400m程。干潟は100~150m残りました。

【2月25日・26日】シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、オオハシシギ、ツルシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ソリハシセイタカシギ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ズグロカモメ、セグロカモメ、カワウ、ツクシガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、コガモ、マガモ、カルガモ、スズガモ、アカツクシガモ、ホシハジロ、コサギ、ダイサギ、アオアシシギ



アカツクシガモ



カワウ



ダイシャクシギ

【3月5日】シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン2羽、ハマシギ、オオハシシギ8羽、ツルシギ1羽、コアオアシシギ2羽、アオアシシギ、ハジロコチドリ2羽、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ソリハシセイタカシギ1羽、クロツラヘラサギ52羽、ヘラサギ7羽、ズグロカモメ、セグロカモメ、カワウ、オナガガモ、ツクシガモ2180羽、ヒドリガモ、コガモ、マガモ、カルガモ、ヨシガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、コサギ、ダイサギ、アオアシシギ、ミサゴ

※今日は4.7mと潮が低かったので干潟で休んでたツクシガモだけカウントしました。アボセットは1羽しか確認できませんでした。

【3月11日】ハジロコチドリ1羽、シロチドリ、メダイチドリ127羽、ダイゼン、ハマシギ、オオハシシギ2羽、ツルシギ1羽、アオアシシギ、コアオアシシギ、ダイシャクシギ109羽、ホウロクシギ、チュウシャクシギ3羽、ソリハシセイタカシギ1羽、コオバシギ1羽、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ズグロカモメ1340羽、ユリカモメ、セグロカモメ、アオサギ、ダイサギ、カワウ、ツクシガモ1430羽、ミサゴ、オナガガモ、ヒドリガモ、コガモ、カルガモ、ヨシガモ、マガモ、キンクロハジロ、スズガモ、ハシビロガモ



アボセット (ソリハシセイタカシギ)



クロツラヘラサギ



★その他の地区

2月12日 【白石町】 オオジュリン、ホオジロ、シベリアジュリン、カワラヒワ、アオジ、ツグミ、ジョウビタキ、ミヤマホオジロ、スズメ、ヒヨドリ、カササギ、トビ、ミサゴ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、タゲリ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、

2月25日 【白石町】 アトリ、オオジュリン、ツリスガラ、ヒシクイ、マガン、アオジ、ホシハジロ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、スズガモ、キンクロハジロ、オオバン、ヨシガモ、ホシムクドリ、ツグミ、ヒヨドリ、ホオジロ、ヘラサギ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、カワウ、ズグロカモメ、ユリカモメ、セグロカモメ、コガモ、カンムリカイツブリ、カイツブリ、クロツラヘラサギ、カワラヒワ、ハシボソガラス



←シベリアジュリン



ツリスガラ→

■秀島 泉さん (多久市)

1月31日 【佐賀空港】 コミミズク ※昼から3回ほど会えました。後日3日ほど行ったのですが会えませんでした。ラッキーだったと思います。

2月28日 【小城公園】 ヒレンジャク ※朝6時半ごろに行って待ってたらすごく近くに来てくれました。これもラッキーでした。



コミミズク



ヒレンジャク

■中山 聡さん（佐賀市）

2月8日 【多布施川河畔公園】

コガモ、ジョウビタキ
※コガモとジョウビタキを
ローアングルでいつもと
違う雰囲気撮りました。
多布施川河畔公園はよく
足を運びます。
市街地から近くとても
気に入ってます。



コガモ



ジョウビタキ

■馬場 順一さん（鳥栖市）

【田代公園・神山溜池・弥生が丘 東公園】2/1、2/12、3/8、3/19

マガモ、カルガモ、オシドリ、ホシハジロ、カイツブリ、アオバト、キジバト、トビ、
コゲラ、ハクセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ルリビタキ、シ
ロハラ、ツグミ、シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、アオジ、ミヤマホオジ
ロ、アトリ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

※ビンズイは2/12 田代公園、アオバトは3/8、3/19 弥生が丘 東公園



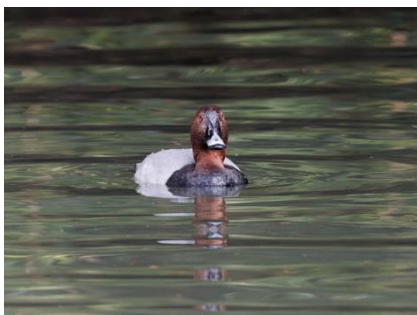
カルガモ ウォーキング中



アトリ 食事中



モズお嬢に睨まれた



←おとぼけ顔?のホシハジロ君

公園は春 オオイヌノフグリ→



～野鳥さが原稿募集中～

①詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

②投稿・ご意見などをお寄せください。（編集部：馬場順一）

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp



● 近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■ 日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

- ・福岡市西区今津：4/2 (日) 5/7 (日)
- ・福岡市大濠公園：4/8 (土) 5/13 (土)
- ・筑紫野市天拝山：4/16 (日) 5/21 (日)
- ・春日市春日公園：4/4 (火) 5/2 (火)
- ・福岡市和白海岸：4/9 (日) 5/14 (日)
- ・福津市久末ダム：4/23 (日) 5/28 (日)

※上記の定例観察会以外に、月例観察会も実施されています。

詳しくは福岡支部のホームページをご覧ください。

■ 日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

- ・小郡市花立山：4/2 (日)
- ・久留米市高良山：4/9 (日)

※上記以外の定例観察会及び、企画観察会も実施されています。

詳しくは筑後支部のホームページをご覧ください。

お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>
筑後支部 <https://wbsj-chikugo.org/>



有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m以上、午前 7 時頃から 12 時頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

	時 刻	潮高 (m)		時 刻	潮高 (m)
4月5日	8:58	5.1	5月3日	7:37	4.9
4月6日	9:28	5.3	5月4日	8:12	5.1
4月7日	9:57	5.4	5月5日	8:47	5.3
4月8日	10:24	5.3	5月6日	9:22	5.3
4月9日	10:51	5.2	5月7日	9:57	5.3
4月10日	11:16	5.0	5月8日	10:30	5.2
4月17日	7:23	5.0	5月9日	11:04	5.0
4月18日	8:05	5.3	5月17日	7:20	5.1
4月19日	8:43	5.4	5月18日	8:00	5.2
4月20日	9:18	5.5	5月19日	8:37	5.2
4月21日	9:48	5.4	5月20日	9:11	5.2
4月22日	10:15	5.3	5月21日	9:43	5.1
4月23日	10:39	5.1	5月22日	10:13	5.0

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)





探鳥会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

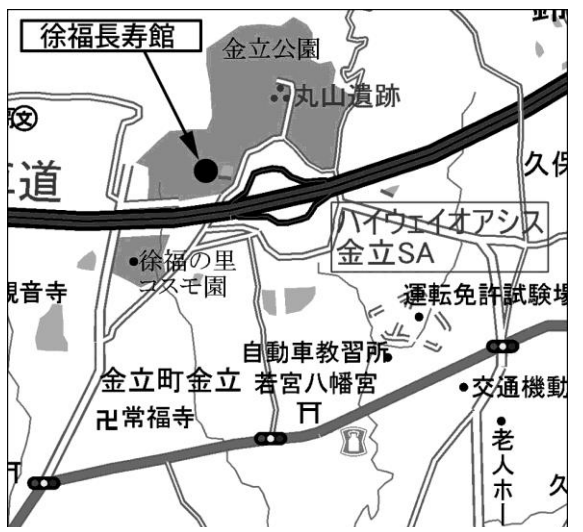
①3月26日 小城市・千葉城址



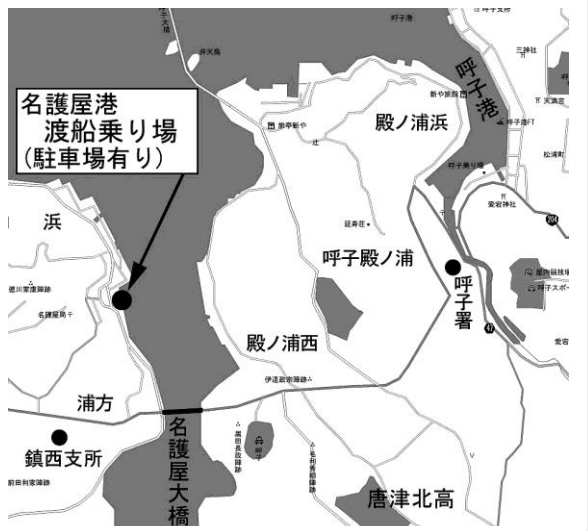
②4月9日 ⑤5月6日 佐賀市・東よか干潟



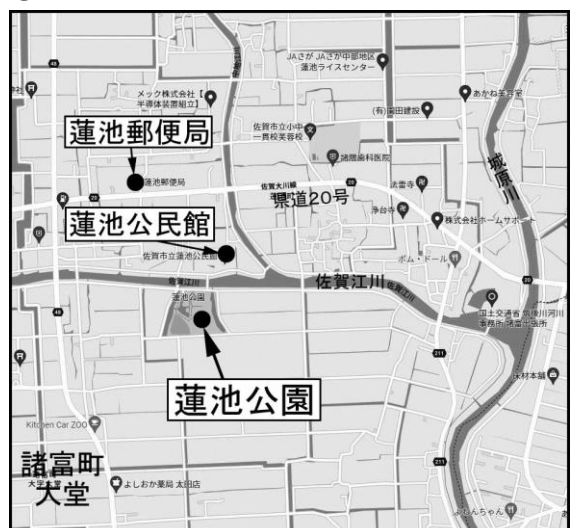
③4月16日 佐賀市・金立公園



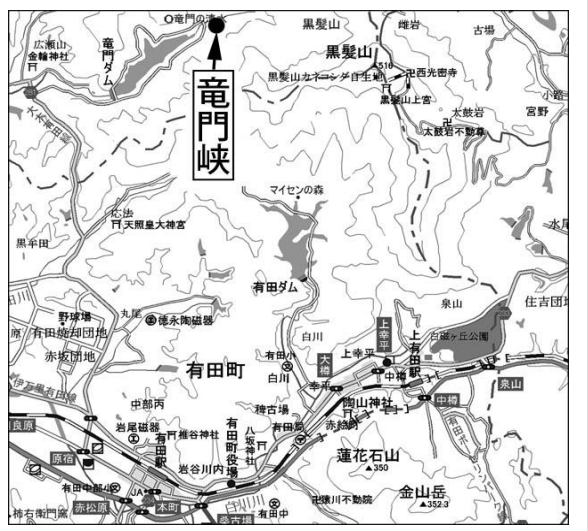
⑤5月4日 唐津市・馬渡島



⑥5月14日 佐賀市・蓮池公園



⑦5月21日 有田町・黒髪山





探鳥会などのご案内 (2023年3月末～5月)

①3月26日(日)

千葉城址探鳥会(小城市)

[時間&場所] 9:00 小城市小城町岩蔵の
「ほたるの郷」駐車場
[担当] 蒲原 留美さん(小城市) 090-5294-3103
[見どころ] 開きはじめた桜と、春の小鳥たちを観察
します。

②4月9日(日) ⑤5月6日(土)

東よか干潟(大授煽)探鳥会(佐賀市)

[集合] 両日とも 9:00
東よか干潟展望台(佐賀市東与賀町田中)
[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市) 080-1707-9225
加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560
[見どころ] 渡りの季節を迎え、そろそろ「夏羽」に
変身中の「シギ・チドリ」を観察します。

③4月16日(日)

金立公園探鳥会(佐賀市)

[集合] 9:00 佐賀市金立公園内の
「徐福長寿館」駐車場
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 春の里山に生息する小鳥たちを観察
します。

④5月4日(木・みどりの日)

馬渡島探鳥会(唐津市)

[集合] 8:00 唐津市鎮西町の名護屋渡船場
[担当] 馬場 清さん(嬉野市) 090-1084-3852
[見どころ] 島嶼部でしか見れない「カラスバト」や渡り
途中に羽を休める「夏鳥」を観察します。
※8時35分発の渡船で島に渡り、13時または16時
の船で戻ります。渡船料=片道870円
弁当、水筒などをご持参ください。

⑥5月14日(日)

蓮池公園探鳥会& コアジサシウォッチング(佐賀市)

[集合] 9:00 蓮池公園駐車場
[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
[見どころ] 公園の鳥たちを観察後、諸富町大で
「繁殖中のコアジサシ」を観察します。

⑦5月21日(日)

黒髪山探鳥会(有田町)

[集合] 8:00 有田町 竜門ダム林間駐車場
[担当] 馬場 清さん(嬉野市) 090-1084-3852
[見どころ] 黒髪の中で「オオルリ」「アカショウビン」
「サンコウチョウ」等の夏鳥を観察します。

観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、
又は宮原支部長の携帯電話(090-2507-7085)へ連絡をして下さい。

共通事項

- ① 参加費(資料代、保険代) 佐賀県支部会員 100円 非会員は 300円
- ② 雨天中止。(前夜 18:55 の NHK 天気予報で降水確率 50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長: 宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)
事務局: 島田 洋 (☎ 090-2393-1286)
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>